

令和5年度外部評価会 集計表(農業者)

所属名: 大島支庁沖永良部事務所農業普及課

課題名②稼ぐ力の向上によるばれいしょ産地の育成						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの意見・提言	意見・提言等に対する改善策や普及指導計画への反映等
		適当	概ね適當	要改善		
課題の設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	7	0	0	・ばれいしょの安定生産に向け新品種への取組は重要である。 ・土壤診断による適正施肥は興味深い。	しまあかりについては、来年度も継続して普及指導計画の重点活動として取り組むこととしている。
対象の選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	3	4	0	展示ほ等を増やして取り組んで欲しい。	しまあかりは、今後種いも供給計画に沿って展示ほを増やしていく。施肥の実証ほについては、ほ場間差も大きいため今後検討したい。
活動体制・活動方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	2	5	0	・幅広く試験区を設定することで、多くの結果が得られるため良い取組である。 ・疫病の具体的な指導が必要である。	来年度の普及指導計画においても研修会で、疫病も含む病害虫対策の周知、情報提供を行うこととしている。
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	2	5	0		
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	3	4	0		
活動の成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	3	3	1	・肥料高騰対策として効果的な活動だと思うので、私自身も実施したい。 ・私自身、硫安施肥で失敗しているので、散布の具体的指導が欲しい。	個別の事案については、後日対応する。
活動の波及性と改善	⑦他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	2	5	0	・共販農家以外の周知が重要である。 ・さとうきびとの輪作など連携が重要である。	しまあかりについては、共販農家以外への周知も行って行きたい。
	⑧結果が十分でないものは今後の対策を考えられているか	2	5	0		

令和6年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 大島支庁沖永良部事務所農業普及課

課題名②稼ぐ力の向上によるばれいしょ産地の育成						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの意見・提言	意見・提言等に対する改善策や普及指導計画への反映等
		適当	概ね適當	要改善		
課題の設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	11	1	0	土壤診断に基づく適正施肥、病害虫防除のための品種選定は共通の課題で大変重要である。	しまあかりについては、引き続き来年度の普及指導計画においても重点活動として取り組むこととしている。適正施肥の取り組みについては、ほ場間差も大きいため今後検討したい。
対象の選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	10	2	0	適切である。	
活動体制・活動方法	③関係機関と連携して活動しているか	11	1	0	・地区の農家とともに進めており、適切である。 ・農家の経費削減につながっており、効果的な結果が出ている。 ・シストセンチュウ対策は重要課題であり今後も対策を早急に進めて欲しい。	しまあかりについては、引き続き来年度の普及指導計画においても重点活動として取り組むこととしている。適正施肥の取り組みについては、ほ場間差も大きいため今後検討したい。
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	9	3	0		
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	9	3	0		
活動の成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	6	6	0	・地域のメディア等での情報発信は、腐敗苗対策の波及効果が大きいと思う。	腐敗性病害対策については、引き続き来年度の普及指導計画においても重点活動として取り組むこととしている。
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	6	6	0		
活動の波及性と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	8	4	0	・地域のメディア等での情報発信は、腐敗苗対策の波及効果が大きいと思う。 ・他品目でもネット上での疫病対策の研修会のアップを実施していただきたい。	腐敗性病害対策については、引き続き来年度の普及指導計画においても重点活動として取り組むこととしている。
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	8	4	0		

稼ぐ力の向上によるばれいしょ ブランド産地の育成



沖永良部事務所農業普及課 水辺陽子

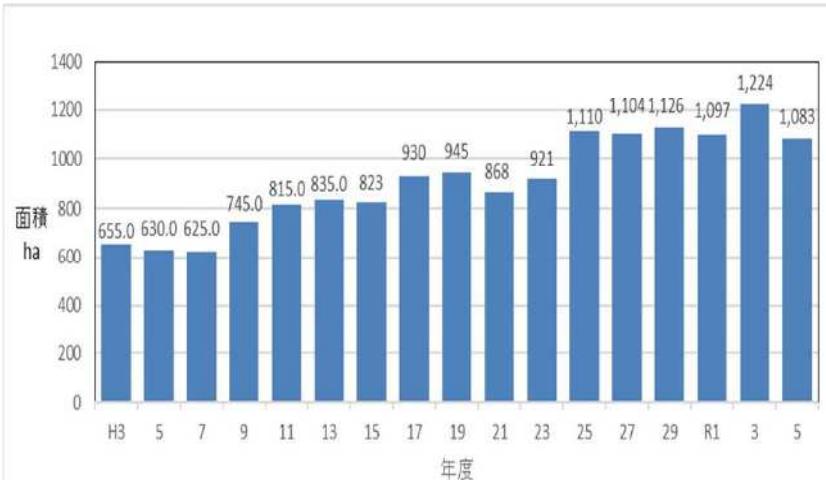
1

本日の発表内容

- 1 土壌診断に基づく適正施肥
- 2 シストセンチュウ抵抗性品種の導入推進
- 3 腐敗性病害の対策

3

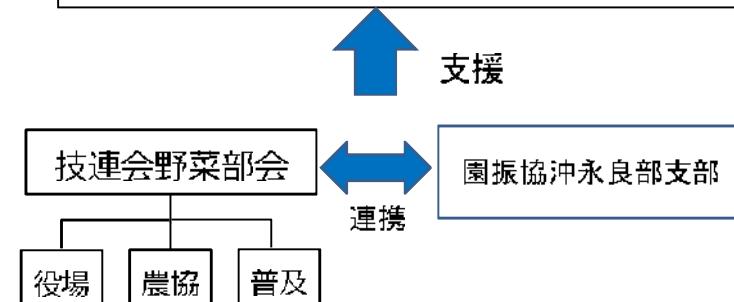
ばれいしょ栽培の概要



2

推進体制

○主な活動の対象
和泊町園芸振興会ばれいしょ部会
JAあまみ知名事業本部園芸振興会ばれいしょ部会



4

1 土壤診断に基づく適正施肥

具体的な活動内容

①地力窒素診断



測定キットを使って色を判定

80°C 16時間水抽出液 - パックテスト判定
5 ← 抽出液の希釈倍率を入れてください。
通常は5倍です。



地力窒素量
(mg/100g)

4.1

コメント
地力窒素量は目標値程度です。
このレベルを維持しましょう。

1 土壤診断に基づく適正施肥

具体的な活動内容

②土壤診断の事例

土壤分析結果 (単位: mg/100g乾土)

項目	pH	EC	CaO	MgO	K ₂ O	P ₂ O ₅	地力窒素
診断基準	5.0~6.0	<0.3	252~328	29~35	17~42	10~50	2以上
施肥前	6.3	0.08	617	45.5	71.1	70	4.1

6

1 土壤診断に基づく適正施肥

具体的な活動内容

③土壤診断に基づく実証ほ

【試験区の構成】

区名	施用量	N	P	K
農家慣行区 (オール14)	120	16.8	16.8	16.8
実証区 (硫安)	80	16.8	0	0

7

1 土壤診断に基づく適正施肥

活動の成果



オール14区

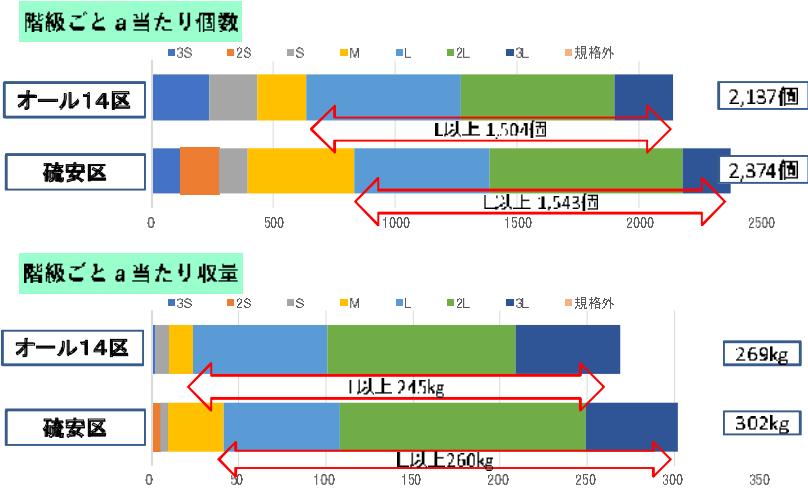


硫安区

8

1 土壤診断に基づく適正施肥

活動の成果・肥料費は37%削減できた。



2 シストセンチュウ抵抗性品種の導入推進 しまあかりとは？

- 生育は旺盛、食味良好
- そうか病・粉状そうか病にやや強い
- 出芽揃いがやや遅い



11

2 シストセンチュウ抵抗性品種の導入推進

ジャガイモシストセンチュウとは？

- 植物防疫法上の重要病害虫
- 種いも生産地でシストセンチュウ抵抗性以外の品種の生産が難しい



10

2 シストセンチュウ抵抗性品種の導入推進

活動の成果

①実証ほの結果

自家増殖・冷蔵貯蔵により
出芽率は85%以上



植付日：令和5年10月24日、収穫日：令和6年1月30日、2月5日

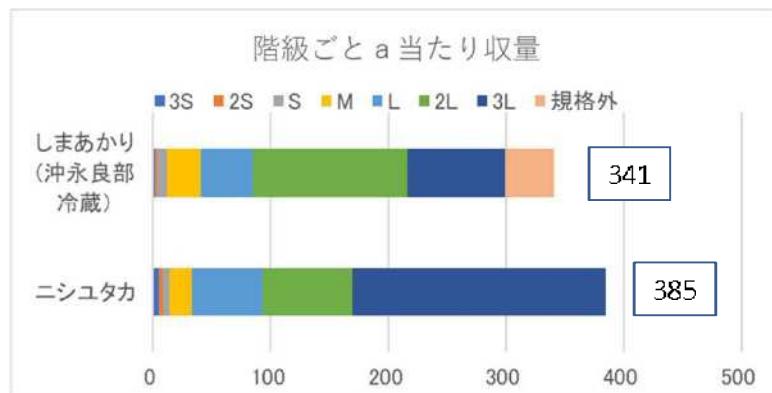
12

2 シストセンチュウ抵抗性品種の導入推進

活動の成果

②実証ほの結果

収量についても対照のニシユタカと同等



2 シストセンチュウ抵抗性品種の導入推進

具体的な活動内容

③展示ほの設置（R6 20か所）



14

2 シストセンチュウ抵抗性品種の導入推進

具体的な活動内容

④「しまあかり」北海道産種いも供給計画

(種いも200kg/10aとした場合)

	JA	R6	R7	R8	R9	R10
沖永良部	和泊	10a	40a	150a	280a	530a
	知名	10a	40a	150a	280a	530a
計		20a	80a	300a	560a	1,060a
県全体		104a	760a	3,002a	6,004a	10,516a

15

3 腐敗性病害の対策

●軟腐病

- 初期症状は、水浸状の病斑、下葉の黄化、茎のしおれ
- ひどくなると茎が黒変、軟化し（特に地際部から）、株全体が壊れる
- 塊茎に発生するとクリーム状に軟化し、臭氣を放つ



・下葉の黄化
・茎の黒変
・塊茎（いも）の腐敗

●青枯病

- 最初は、晴天時の日中にしおれ症状、夕方以降回復
- 徐々に回復せず、しまいに枯れる



・切り口からの白い粘液

16

3 腐敗性病害の対策

具体的な活動内容

①軟腐病対策技術の理解・啓発

- 対策の技術資料の作成
- 講習会、普及だより、ケーブルテレビ、ユーチューブを活用した周知



次腐病対策の動画



芋類栽培講習会

17

今後の取り組み

- 土壌診断による適正施肥の推進
- しまあかりの栽培技術の向上と面積拡大
- 痘学調査に基づく腐敗性病害の軽減対策の確立

• ご清聴ありがとうございました。

19

3 腐敗性病害の対策

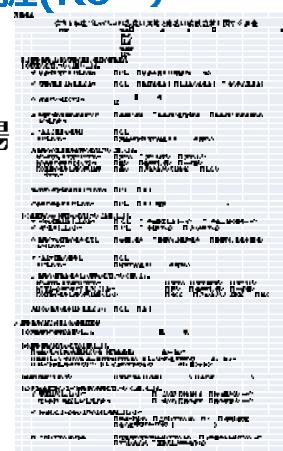
具体的な活動内容

②腐敗性病害の更なる実態把握(R6~)

- 発生農家の聞き取り調査
- 病害発生株の採取
(農業開発総合センター大島支場
病害虫研究室と連携)



聞き取り調査



聞き取り様式

18